2009年3月期第2四半期決算説明会

2008年12月4日



代表取締役社長
山　口　　隆

あすか製薬株式会社

目 次

- 2009年3月期第2四半期決算概要
- 研究開発ステージ
- 産婦人科領域の取り組み
- 資本・業務提携
- まとめ

2009年3月期第2四半期決算概要



あすか製薬株式会社

2009年3月期第2四半期連結決算の総括

- 売　上 高　　14,450百万円（前同比　　0.3%増）
- 営業利益　　342百万円（前同比　　63.7%減）
- 経常利益　　507百万円（前同比　　50.5%減）
- 中間純利益　　328百万円（前同比　　35.7%減）

1. 売上高は、後発医療用医薬品(3品目)及び動物用医薬品(1品目)の新製品を上市したことにより微増収
2. 利益面では、売上原価率及び販売費の増加などの影響により営業利益、経常利益とも減益
3. 四半期純利益も、特別損益の収支尻は退職金制度改定(確定拠出年金制度への一部移行)に伴う特別利益の計上により8千6百万の黒字となったが減益

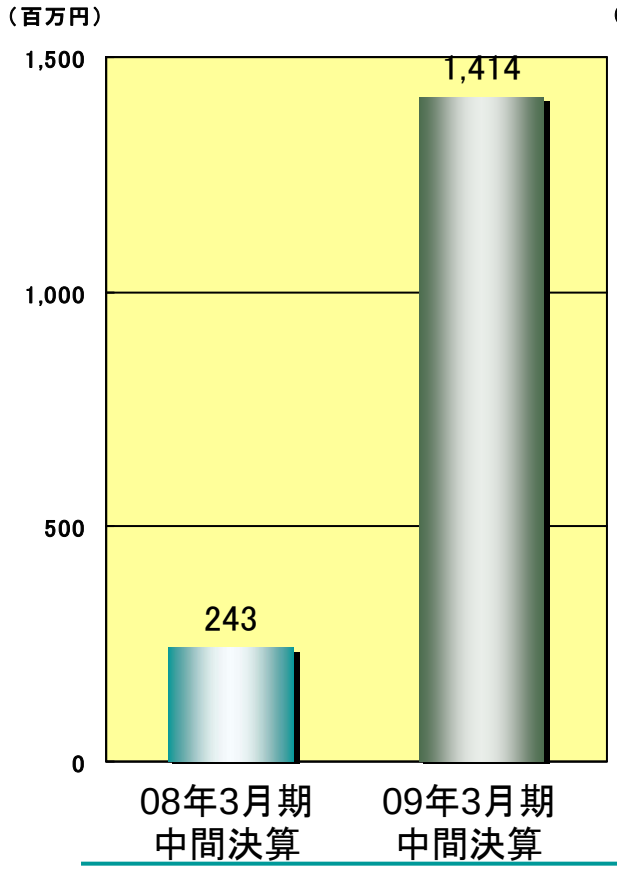
連結損益計算書

（金額単位：百万円）

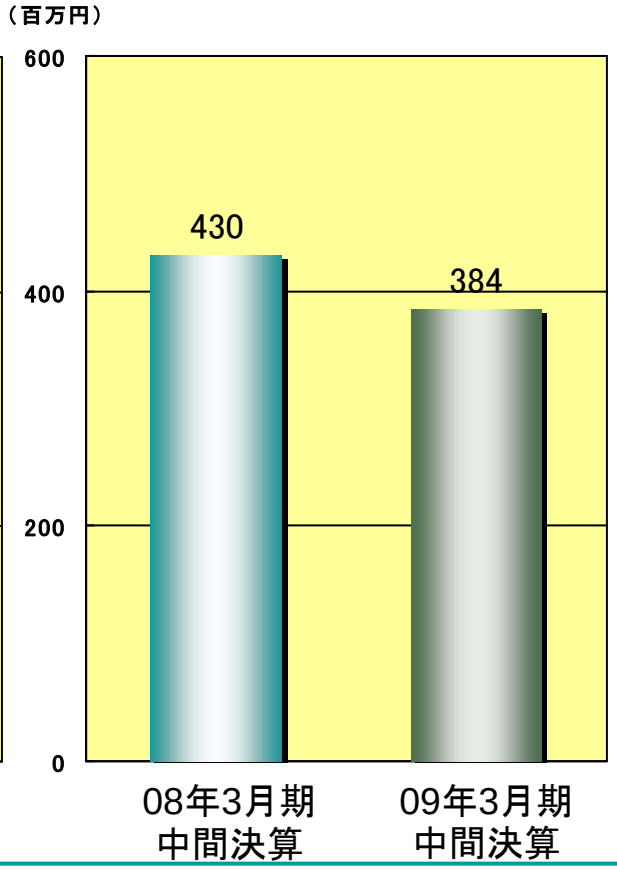
	08年3月期 中間期	09年3月期 中間期	増　減	前同比	09年3月期 計　画	備　　考
売　上　高	14,411	14,450	39	100.3%	31,700	〈増収要因〉 医療用医薬品＋35 動物用医薬品＋18
売 上 原 価	4,753	5,231	478	110.1%	11,670	売上原価率　＋3.2ﾎﾟｲﾝﾄ （33.0% →36.2%）
売上総利益	9,657	9,219	△438	95.5%	20,030	
販　管　費	8,714	8,876	162	101.9%	18,210	
営 業 利 益	943	342	△601	36.3%	1,820	
経 常 利 益	1,024	507	△517	49.5%	2,060	
中間純利益	510	328	△182	64.3%	1,120	

設備投資等の概要

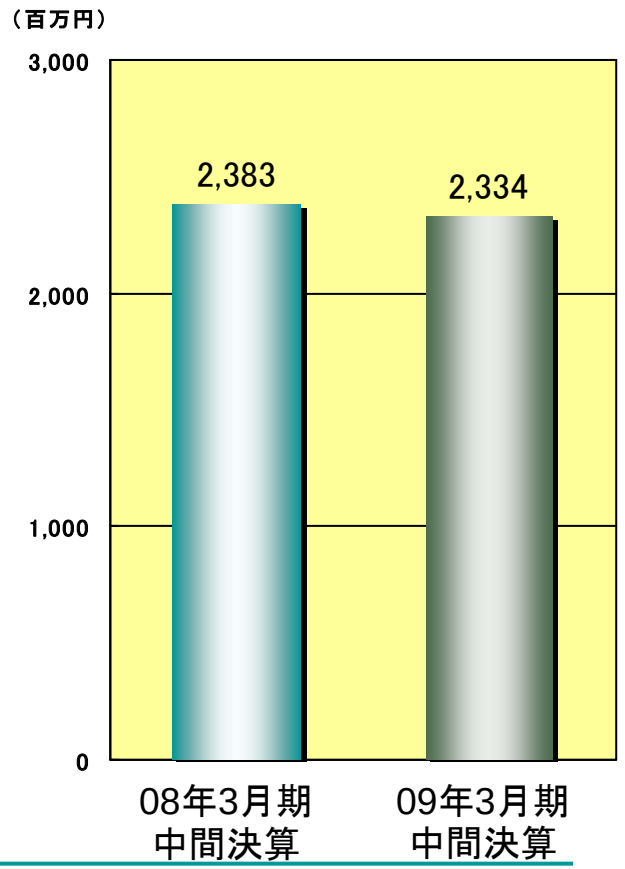
設備投資



減価償却費



研究開発費



連結貸借対照表

（金額単位：百万円）

借方				貸方			
	08年3月期末	09年3月期中間期末	増減		08年3月期末	09年3月期中間期末	増減
流動資産	28,053	26,021	△2,032	流動負債	7,333	6,908	△425
固定資産	22,363	23,709	1,346	固定負債	9,339	9,026	△313
資産合計	50,417	49,730	△687	負債合計	16,673	15,934	△739
				純資産合計	33,743	33,796	53

流動資産減因 ： 有価証券 △2,485

固定資産増因 ： 有形固定資産 1,026

流動負債減因 ： 支払法人税等 △ 625

固定負債減因 ： 退職給付引当金 △1,446

確定拠出年金移行時未払金 1,161

連結キャッシュ・フロー計算書

（金額単位：百万円）

	08年3月期 中間期	09年3月期 中間期	増　減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,068	△760	△1,828
投資活動によるキャッシュ・フロー	△568	△1,771	△1,203
財務活動によるキャッシュ・フロー	△76	△242	△166
現金及び現金同等物等の中間期末残高	9,234	9,991	757

事業別販売実績（連結）

（金額単位：百万円）

	08年3月期 中間期	09年3月期 中間期	構成比(%)	増 減	前同比 (%)
医療用医薬品	13,598	13,633	94.3	35	100.3
一般用医薬品	57	62	0.4	5	108.9
動物用医薬品	550	568	3.9	18	103.2
医療機器	36	36	0.3	0	100.4
その他	170	151	1.0	△19	88.8
合計	14,411	14,450	100.0	39	100.3

主要製品売上高

（金額単位：百万円）

	領域	製品	主効能	08年3月期中間期	09年3月期中間期		09年3月期通期	
				実績	実績	前同比(%)	予想	前年比(%)
	内科	アルタット	胃・十二指腸潰瘍	1,854	1,600	86.3	3,578	96.4
		リピディル	高脂血症	1,932	1,893	98.0	4,180	111.4
		チラーヂン	甲状腺機能低下症	1,738	1,883	108.4	3,662	105.7
※		ラミアン	高脂血症	398	378	95.1	816	102.5
※		アムロジピン「あすか」	高血圧症、狭心症		295		896	
※		メサラジン「AKP」	潰瘍性大腸炎、クローン病		20		57	
	泌尿器科	プロスタール	前立腺肥大症・癌	2,319	1,957	84.4	4,143	91.0
※		ミクトノーム	頻尿、尿失禁	152	131	86.1	283	96.6
※		リストリーム	前立腺肥大症に伴う排尿障害	310	323	103.9	640	103.9
	産婦人科	アンジュ	避妊	487	550	112.9	1,100	114.1
		HMG	下垂体性無月経の排卵誘発	420	448	106.5	910	101.4
※		ゴナピュール	下垂体性無月経の排卵誘発	129	190	146.9	413	113.6
※	耳鼻科	ミリカレット	アレルギー性鼻炎	76	125	164.1	580	101.6
※		マインベース	一般感染症	115	115	100.2	535	199.1
※		イソソルビド「あすか」	メニエール病、脳圧降下		102		254	

※：ジェネリック製品

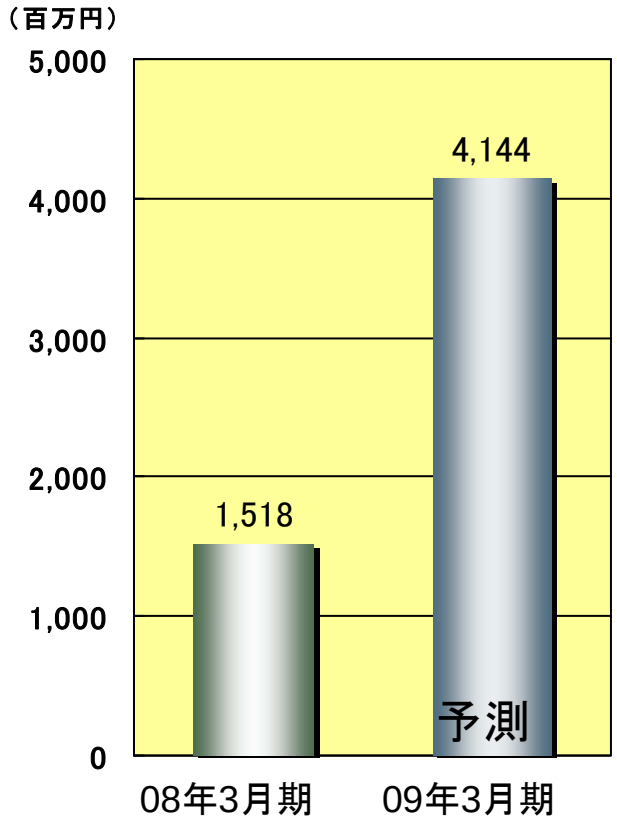
2009年3月期通期予想

（金額単位：百万円）

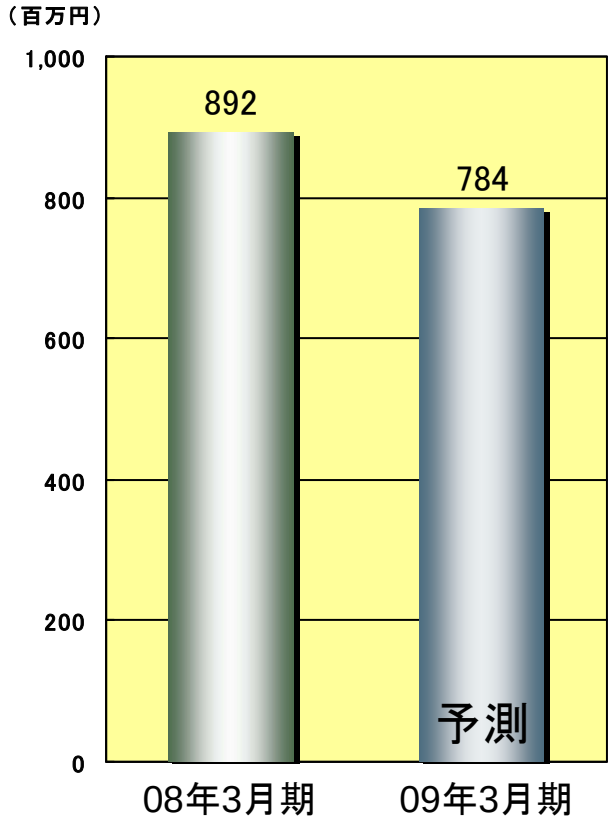
	08年3月期 実　績	09年3月期 予　想	増　減	前年比	備　　考
売　上　高	30,170	31,700	1,530	105.1	〈増収要因〉 医療用医薬品　＋1,655 〈減収要因〉 工業所有権等　△550
売上原価	10,159	11,670	1,511	114.9	売上原価率　＋3.1ﾎﾟｲﾝﾄ （33.7% →36.8%）
売上総利益	20,011	20,030	19	100.1	
販　管　費	18,252	18,210	△42	99.8	
営業利益	1,758	1,820	62	103.5	
経常利益	2,042	2,060	18	100.9	
当期純利益	3,513	1,120	△2,393	31.9	

2009年3月期通期設備投資等の概要

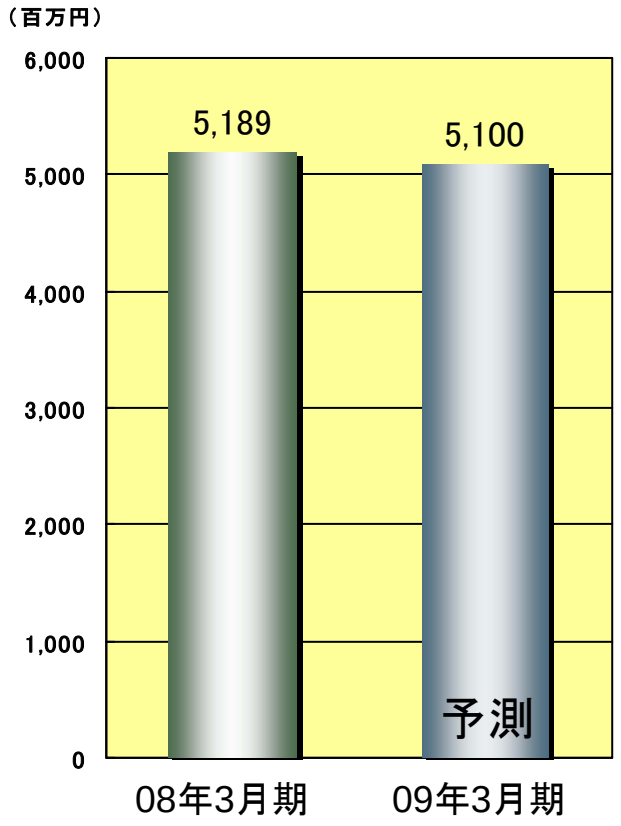
設備投資



減価償却費



研究開発費



研究開発ステージ



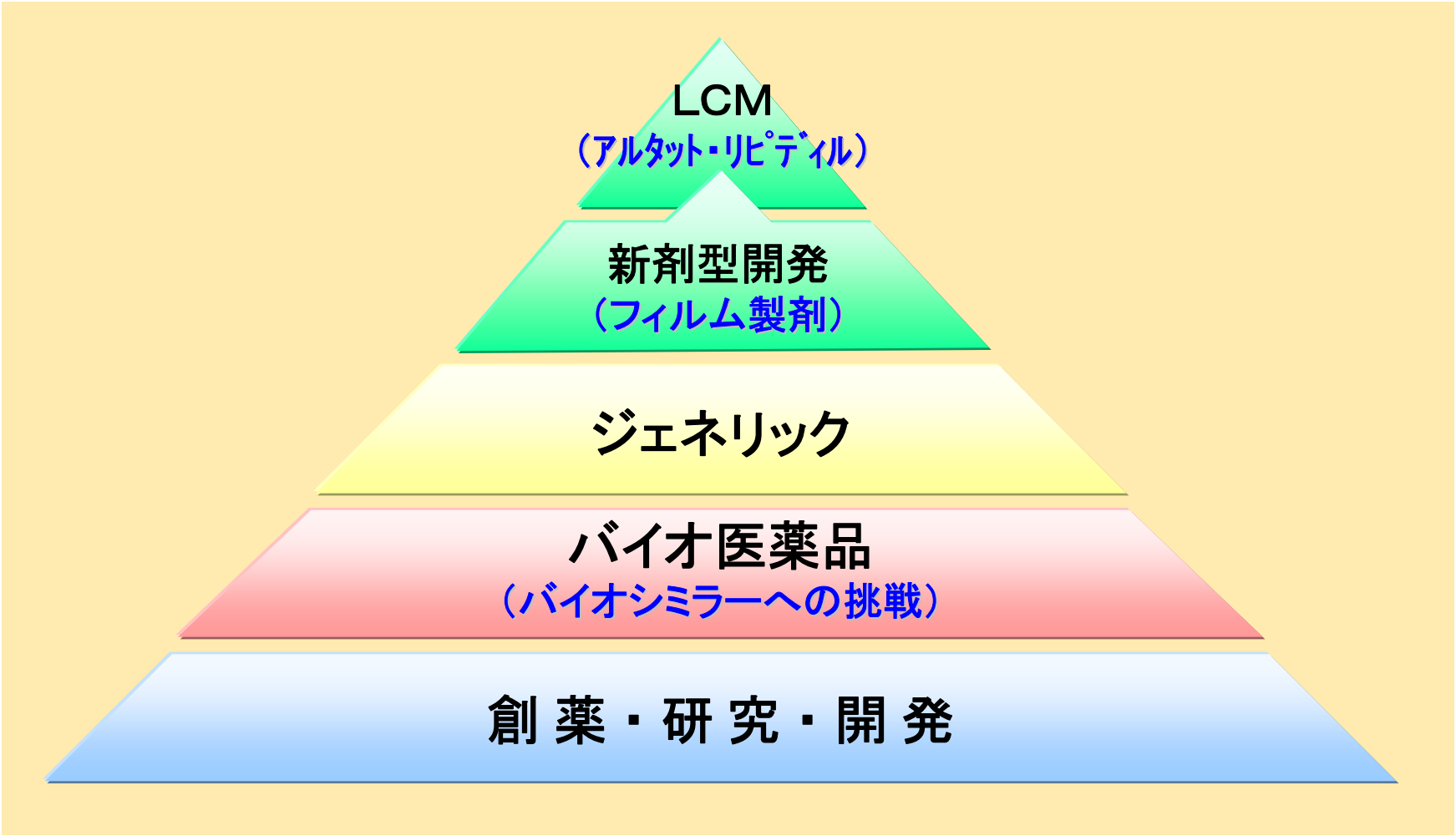
あすか製薬株式会社

新薬開発状況(基礎段階テーマを除く)

2008年12月現在

開発段階	開発コード	起　源	適応症	特　長	上市時期
承認	RPR106522 (ﾒﾉｴｲﾄﾞｺﾝﾋﾞﾊﾟｯﾁ)	ｻﾉﾌｨ・ｱﾍﾞﾝﾃｨｽより導入	更年期障害	QOLの改善が高い貼付製剤	2009年
承認	AKP-005 (ｺﾞﾅﾄﾛﾋﾟﾝ5000)	自社開発品	低ｺﾞﾅﾄﾞﾄﾛﾋﾟﾝ性男子性腺機能低下症における精子形成の誘導	ｺﾞﾅﾄﾛﾋﾟﾝ効能追加	2008年
第Ⅲ相	BNP7787	BioNumerik社より導入	抗悪性腫瘍剤(ﾀｷｻﾝ系及びﾌﾟﾗﾁﾅ系)投与に伴う神経障害の発現抑制		2013年
第Ⅱ相	TZT-1027	自社開発品	悪性腫瘍	幅広い抗腫瘍ｽﾍﾟｸﾄﾗﾑを有する薬剤	未定
第Ⅱ相	GPD-1116	自社開発品	慢性閉塞性肺疾患(COPD) 気管支喘息	気管支拡張作用と抗炎症作用を併せ持つ治療薬	未定
第Ⅰ相	AKP-001	自社開発品	炎症性腸疾患(IBD)	炎症局所で作用して、全身的な副作用のない薬剤	未定
第Ⅰ相	BNP1350	BioNumerik社より導入	悪性腫瘍	消化器毒性を軽減した新規ｶﾝﾌﾟﾄﾃｼﾝ誘導体	未定
第Ⅰ相	AKP-002	自社開発品	前立腺肥大症に伴う排尿障害	排尿症状及び蓄尿症状の改善作用を有する排尿障害治療剤	未定

研究開発への取り組み


LCM
（アルタット・リピディル）
新剤型開発
（フィルム製剤）
ジェネリック
バイオ医薬品
（バイオシミラーへの挑戦）
創 薬 ・ 研 究 ・ 開 発

産婦人科領域の取り組み



あすか製薬株式会社

承認 メノエイドコンビパッチ

～更年期障害への新たな薬物治療の提案～

2008年10月 承認 → 薬価収載（08年12月） → 2009年2月 発売（予定）

- **国内初の配合貼付剤**
  - ・卵胞ホルモン＋黄体ホルモン
- **医療ニーズへの対応（製剤特性）**
  - ・2種類を使用する煩雑さの解消
  - ・コンプライアンスの向上
  - ・安全性の向上
- **各学会から上市の要望**
  - ・日本産科婦人科学会、日本更年期医学会及び日本生殖医学会が要望書を提出
  - ・HRTの理想的製剤と評価





緊急避妊薬
NOR LEVO（合成黄体ホルモン・レボノルゲストレル）

- そーせい㈱：製造販売承認申請（2009年上期予定）
- あすか製薬：独占販売権を取得

【販売意義】

1）産婦人科領域の製品ラインアップの充実
- 日本初の緊急避妊薬

2）社会的要請への対応
- WHOもレボノルゲストレル単独剤の使用を推奨
- 社会的意義が高い
  （日本産科婦人科学会、日本家族計画協会）

3）母体保護に貢献
- 望まない妊娠や人工中絶手術による心身面でのダメージを回避
- 産婦人科領域戦略の理念・「女性のよりよい良質な生活」を提供

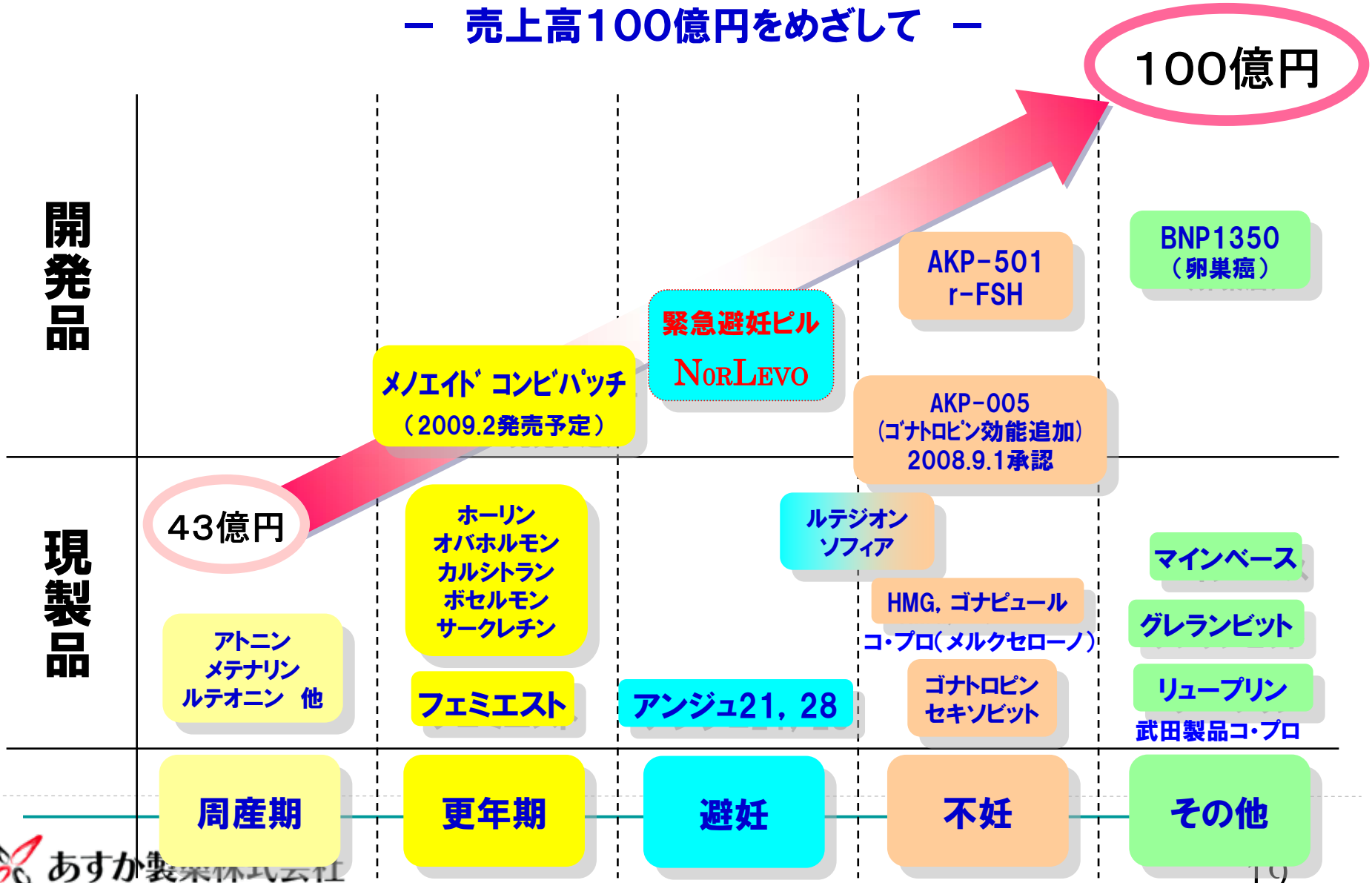


緊急避妊ピル　NORLEVO（SOH-075）

産婦人科領域への取り組み

（薬価ベース）

－ 売上高100億円をめざして －



産婦人科領域におけるあすかのポジショニング

産婦人科領域のリーディングカンパニーを目指します

ウィメンズヘルスケア室の新設

1. 新薬投入による品揃え
2. ウィメンズヘルスケア室の活動

・**不妊・避妊・更年期・婦人科腫瘍**に対する営業の強化にて女性のQOLの向上に貢献します

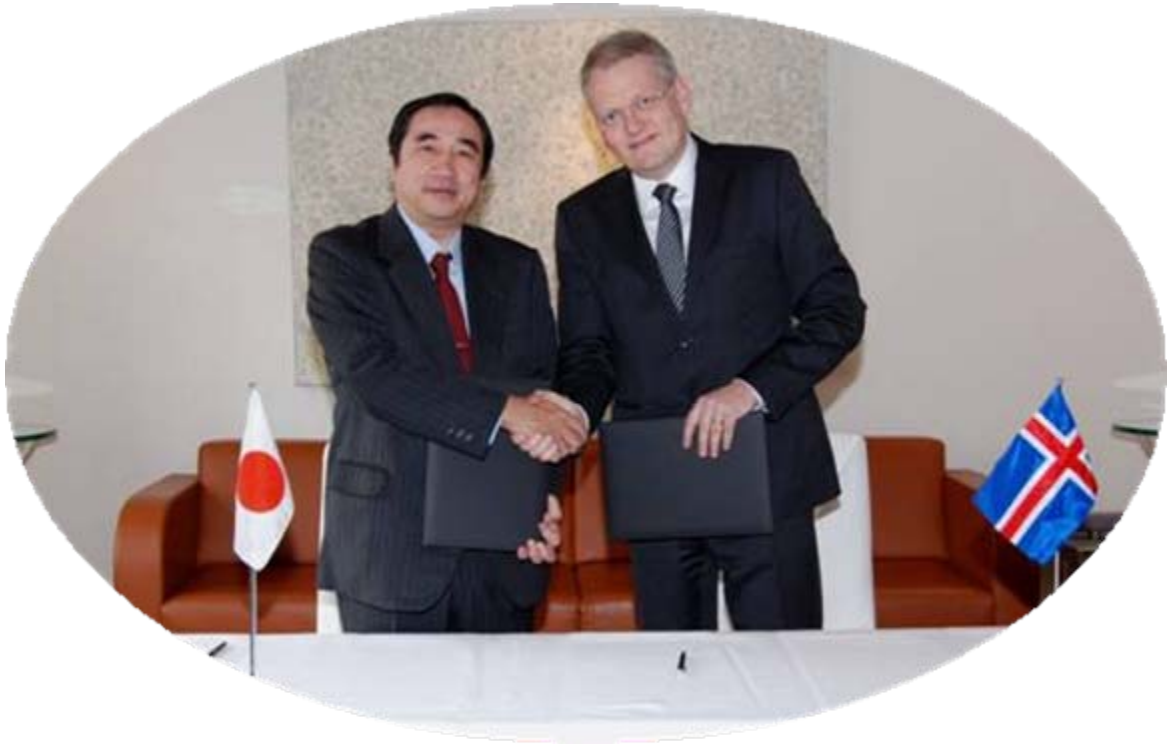
・産婦人科関連学会連携強化
・市民公開講座、セミナーの実施
・「生殖と女性医学」講演会
（産婦人科著名Drをメンバーに当社主催で学術貢献を全国組織で行う）
・一般女性雑誌の活用（クロワッサン）

資本・業務提携



あすか製薬株式会社

Actavisとの資本・業務提携



ジェネリック医薬品合弁会社設立の基本合意書締結

（2008.11.10）

あすかActavisの概要

会　社　名	：	あすかActavis製薬株式会社
事　　業	：	医療用ジェネリック医薬品の開発、製造及び販売
設　　立	：	2009年4月（予定）
資　本　金	：	2億円
出資比率	：	あすか製薬　55% Actavis　45%

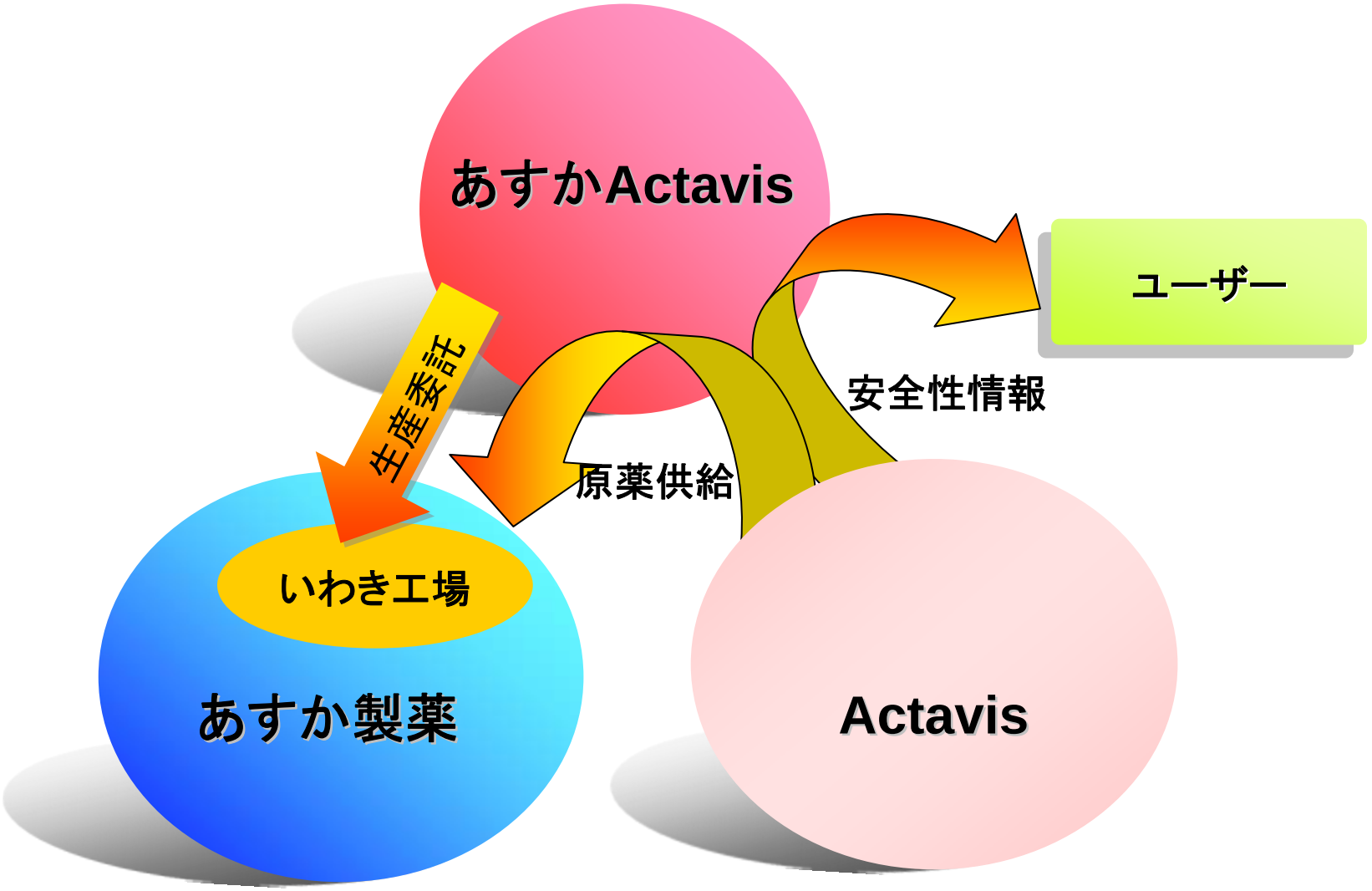
Actavisの概要

- 世界第6位のジェネリック医薬品企業グループ
- 本社：アイスランド（設立：1956年）
- 世界約40カ国に展開　製造拠点：14カ国22工場
- 売上高：約2,000億円　従業員数：約11,000名
- 販売品及び開発品：約1,000品目

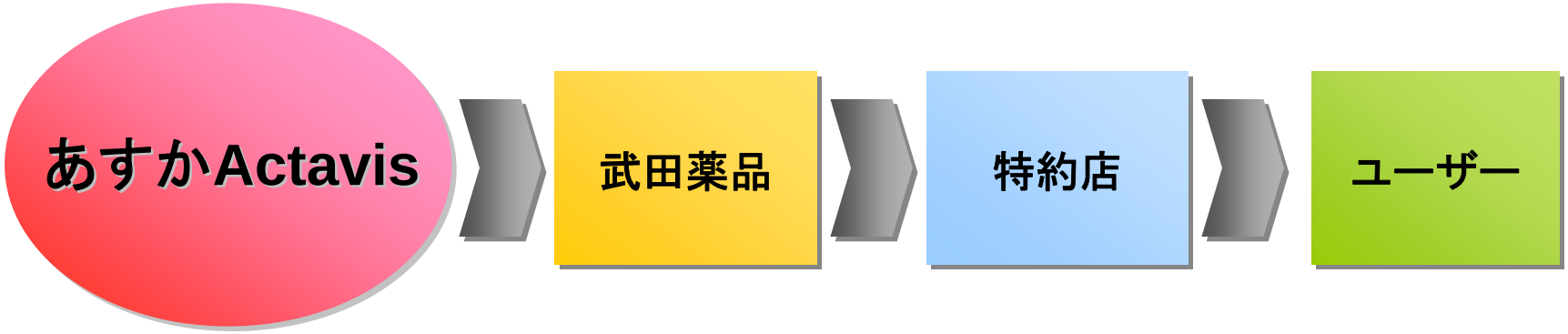
順位	メーカー	売上高（ドル）
1	テバ（イスラエル）	75億7500万
2	サンド（ドイツ）	71億6900万
3	マイラン（アメリカ）	45億9000万
4	ラチオファーム（ドイツ）	26億7900万
5	バー（アメリカ）	23億3400万
6	アクタビス（アイスランド）	22億9800万
7	ワトソン（アメリカ）	19億3100万
8	ホスピーラ（アメリカ）	17億9800万

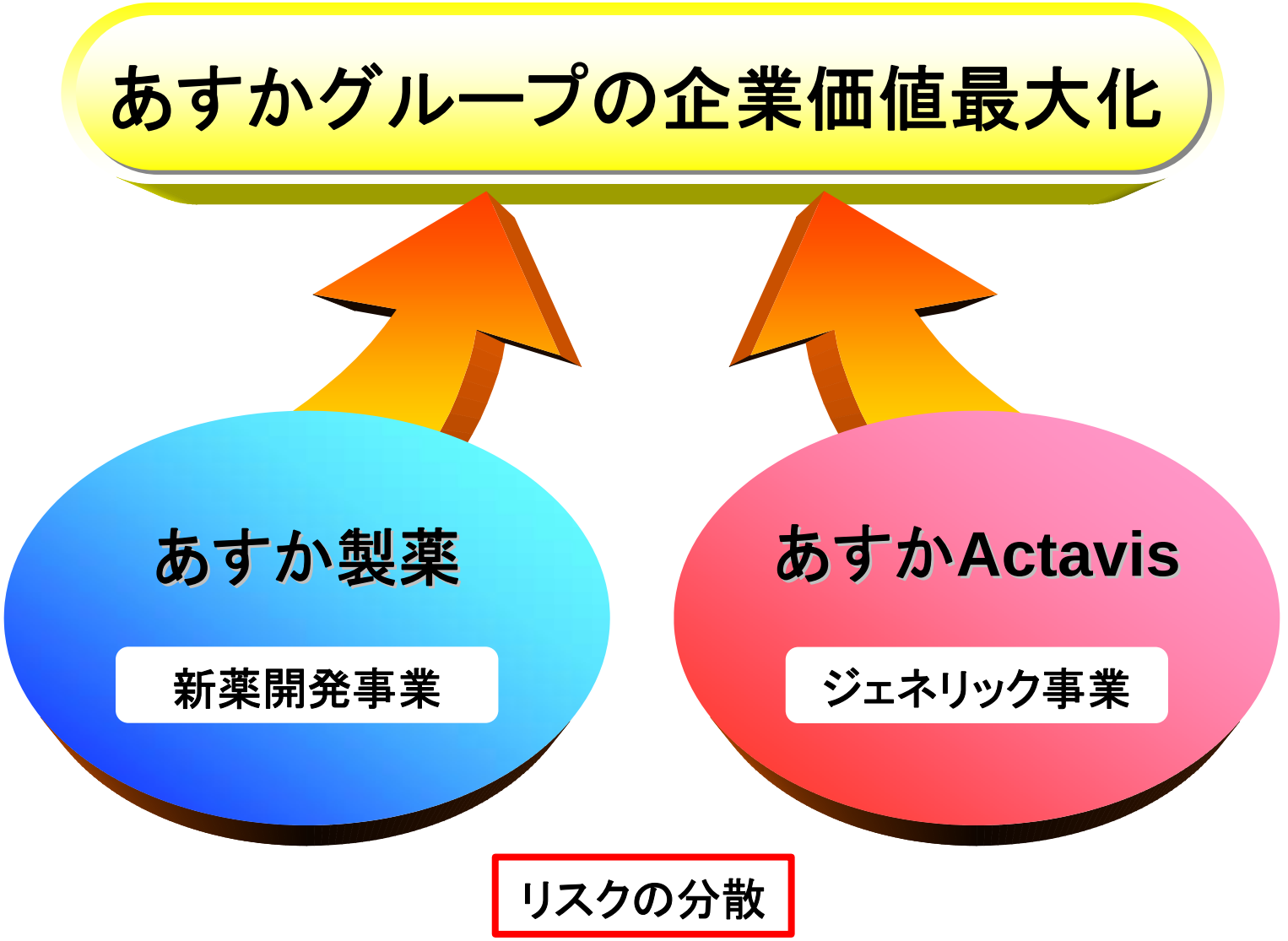
（07年度3月期）

Actavisとのビジネスフロー



あすかActavis製品の流通経路




あすかグループの企業価値最大化
あすか製薬
新薬開発事業
あすかActavis
ジェネリック事業
リスクの分散

まとめ

- 第2四半期は、主力製品の薬価改定の影響をGE新製品でカバーして微増収となった。利益面は、原価･費用増で減益となったが想定の範囲に収まった。年度見通しは、現時点で計画修正しない。
- 今後も戦略的なアライアンスの拡充を積極的に図る。
- あすか製薬の独自性を発揮する領域として、産婦人科領域に新薬を投入しシェアを獲得していく。
- Actavisと国内におけるジェネリック事業を新しい形で展開する連結子会社を設立し、あすかのジェネリックビジネスを本格的に進めていく。
- 新中期経営計画では、ステップアップする目標値を設定し取組んでいく。
- 今後も中堅医薬品企業として、医療への貢献を基本に質の高いビジネスに挑戦していく。(企業価値の最大化とリスクの分散）

配当方針

当中間期の１株当り配当金につきましては、７円といたしました。

２００９年３月期の１株当り期末配当金は7円とし、年間配当金１４円とすることを予定しております

将来予測に関する注意事項

この資料に含まれる将来の予測に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております

したがって、実際の業績、開発見通し等は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います

医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません

＜お問い合わせ先＞

法務広報部

Tel　：　03－5484－8366

e-mail　：　komatsu-s@aska-pharma.co.jp

担当　：　小 松　哲

あすか製薬株式会社